

## 障がい者理解・高齢者理解教育（10月10日）

1年生では現在、人権教育の一環として障がい者理解・高齢者理解教育に取り組んでいます。まず10月9日（水）に、身のまわりにある様々な障壁（バリア）についての気づきを促す授業を学年一斉で行い、翌10月10日（木）には、関西福祉科学大学高校より講師の先生をお招きし、クラス毎に車椅子体験学習を行いました。最初に講師の先生から、福祉という言葉が意味することや、車椅子を扱う上で気をつけること等の説明をしていただき、その後二人一組になって順番に車椅子に乗る人と押す人に分かれて体験をしました。段差の走行は見た目よりも難しく苦戦している様子で、乗っている人は押している時には感じなかった怖さや不安があるようでした。体験の後、講師の先生から、『優しい』という漢字は、『憂い（悲しみ）』に寄り添う人が加わってできたものであり、誰もが暮らしやすい社会を創るためには、環境を整えられる優秀な人がいて、相手の立場になって考えられる優しい人が必要である」と教えていただきました。

お忙しい中、午前中4時間も続けて講師を務めていただいた先生に心より感謝いたします。

### 【10月9日の様子】



### 【10月10日の様子】

